

中堅・中小企業におけるRPA(自動化)ツールの用途と社数シェア

調査設計/分析/執筆: 岩上由高

ノークリサーチ(本社〒160-0022東京都新宿区新宿2-13-10武蔵野ビル5階23号室 代表: 伊嶋謙二 TEL: 03-5361-7880 URL: <http://www.norkresearch.co.jp>)は中堅・中小企業におけるRPA(自動化)ツールの用途と社数シェアに関する調査を行い、その分析結果を発表した。本リリースは「2023年版 中堅・中小企業におけるRPAおよびノーコード/ローコード開発ツールの活用実態レポート」のサンプル/ダイジェストである。

<RPA専用ツールに留まらない社数シェアの視点と有望な用途を見極める判断力が今後の成否を分ける>

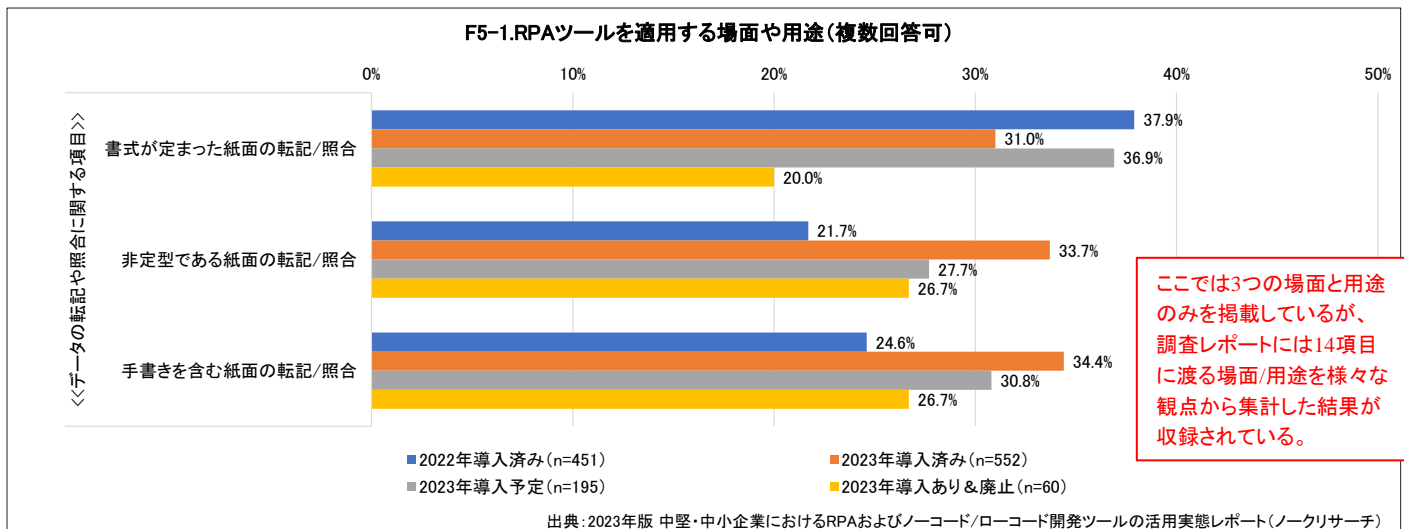
- レイトマジョリティ向けに「書式が定まった紙面の転記/照合」の用途を訴求することが有効
- 「ファイル配信」と比べて「メール配信」の用途は有望だが、誤送信などのトラブルに要注意
- 独自開発およびERP/基幹系システム、ペーパーレス化は自動化の対象だが、競合でもある

対象企業: 年商500億円未満の中堅・中小企業1300社(日本全国、全業種)(有効回答件数)
 対象職責: 情報システムの導入や運用/管理または製品/サービスの選定/決済の権限を有する職責
 ※調査対象の詳しい情報については本リリース4ページを参照

レイトマジョリティ向けに「書式が定まった紙面の転記/照合」の用途を訴求することが有効

IT企業が中堅・中小企業におけるRPAツール活用の拡大を図るためには、自動化に適した業務は何か?を適切に把握する必要がある。そこで、本リリースの元となる調査レポート「2023年版 中堅・中小企業におけるRPAおよびノーコード/ローコード開発ツールの活用実態レポート」では、4グループ、14項目に渡る選択肢を提示して、RPAツールによる自動化が適した場面や用途は何か?を集計/分析している。

以下のグラフはその中から、「書式が定まった紙面の転記/照合」、「非定型である紙面の転記/照合」、「手書きを含む紙面の転記/照合」の3項目を抜粋し、RPAツールの活用状況別に集計した結果である。



グラフ中のRPAツールの活用状況は「2022年時点で導入済みの場合」(青帯)、「2023年時点で導入済みの場合」(橙帯)、「2023年時点で今後の導入を予定している場合」(灰帯)、「一旦導入したが、2023年時点で廃止してしまった場合」(黄帯)の4通りに分けている。上記の結果を見ると、「書式が定まった紙面の転記/照合」は「2022年導入済み」と比べて「2023年導入済み」の値は下がったものの、「2023年導入予定」の値は「2023年導入済み」を上回っており、3項目の中では今後の導入予定が最も多い。したがって、今後は最も基本的な用途である「書式が定まった紙面の転記/照合」が再び増えていくと予想される。こうした傾向からもRPAツール活用の訴求対象がレイトマジョリティへと移りつつある状況が垣間見える。

「ファイル配信」と比べて「メール配信」の用途は有望だが、誤送信などのトラブルに要注意

本リリースの元となる調査レポートでは、中堅・中小企業がRPAツールを適用する場面や用途は何か？を以下のような選択肢を列挙して集計/分析している。

<<データの転記や照合に関する項目>>

- ・書式が定まった紙面の転記/照合 (※) 例) マークシート方式で記入する申込書をシステムに転記する作業を自動化する
- ・非定型である紙面の転記/照合 (※) 例) 名刺のように書式が一定でない紙面のデータを転記する作業を自動化する
- ・手書きを含む紙面の転記/照合 (※) 例) 手書きの自由記述を含むアンケートをシステムに転記する作業を自動化する
- ・Webサイトの転記/照合 例) 競合他社の価格情報を検索して一覧に整理する作業を自動化する
- ・メール文面の転記/照合 例) メールで送られた注文を販売管理システムに入力する作業を自動化する

<<データの配置や配信に関する項目>>

- ・ファイルを定期的に配置する (※※) 例) 毎日所定の時刻に売上速報をアップロードする作業を自動化する
- ・メールを定期的に配信する (※※) 例) 定例会議の前に事前資料をメールで送信する作業を自動化する

<<データの作成や加工に関する項目>>

- ・資料やレポートの作成 例) 会計システムのデータを経営層向けにグラフ化する作業を自動化する
- ・データの集約と修正 例) 店舗や拠点の売上データを統一された書式にまとめる作業を自動化する
- ・データや書式の変換 例) システムAのデータをシステムBに読み込むための変換作業を自動化する

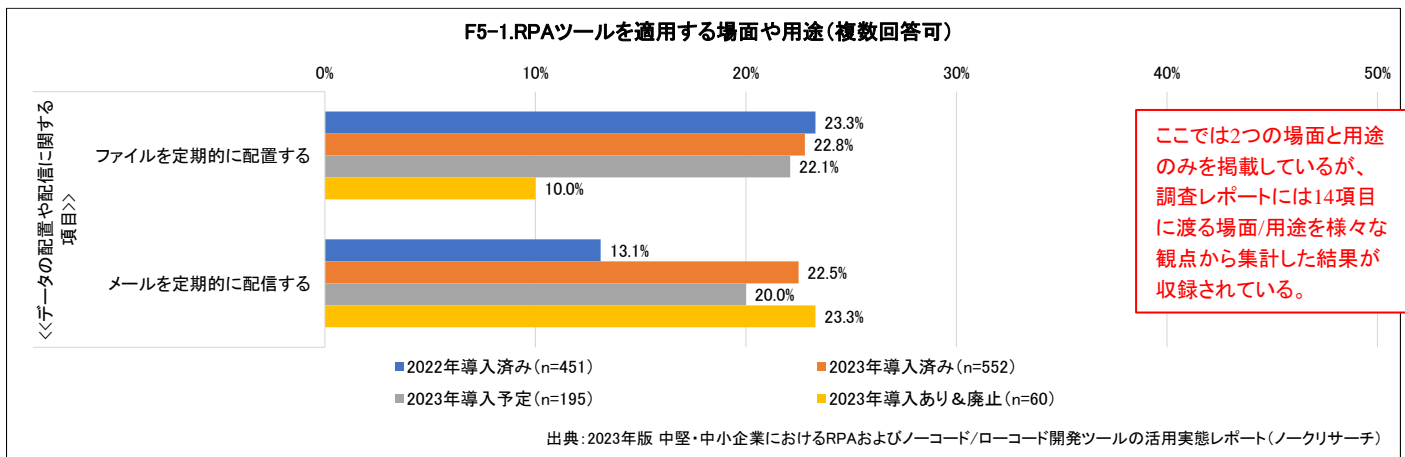
<<高度な判断を伴う処理に関する項目>>

- ・Q&Aサイトの自動応答 例) 過去の履歴などを元にQ&Aサイトに書かれた質問に対して自動的に応答する
- ・メールの自動返信 例) 過去の履歴などを元にメールで送られた問い合わせに対して自動的に応答する
- ・ワークフローの分岐 例) 過去の履歴などを元にワークフローにおける条件分岐を自動的に判断する
- ・データ分析と予測 例) 顧客情報や履歴データを元に優良顧客や要注意顧客(支払遅延など)を推定する

<<その他>>

- ・その他:

上記の中から(※)の3項目を抜粋し、RPAツールの活用状況別に集計した結果が前頁のグラフだ。さらに、(※※)について同様の集計を行った結果が以下のグラフである。



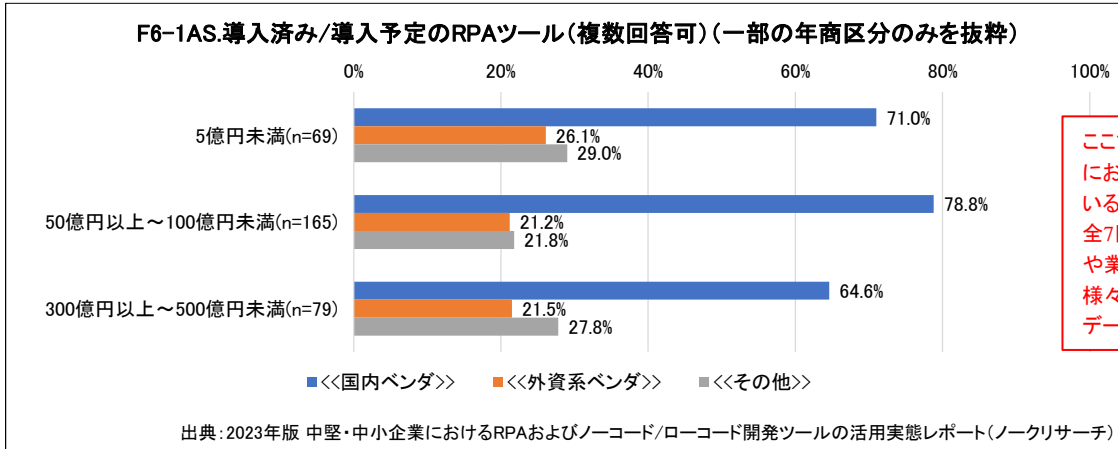
「ファイルを定期的に配置する」の値は導入状況によって目立った変化は見られない一方で、「メールを定期的に配信する」は「2022年導入済み」と比べて「2023年導入済み」は増加しており、「2023年導入予定」も同程度の値となっている。そのため、IT企業としては2022年～2023年にかけて伸びが見られた「メールを定期的に配信する」の場面/用途を引き続き訴求することが得策と考えられる。ただし、この場面/用途は「2023年導入あり&廃止」の値も高いため、メール誤送信などのトラブル発生によってRPAツール活用が中断するなどの事象が起きないように注意しておくことも大切だ。

次頁ではRPAツールの社数シェアについて詳細を述べていく。

独自開発およびERP/基幹系システム、ペーパレス化は自動化の対象だが、競合でもある

さらに本リリースの元となる調査レポートでは、国内ベンダ25項目、外資系ベンダ11項目、その他(業務システムの一機能としての自動化や独自開発システムなど)として8項目、合計44項目に渡る具体的な製品/サービス名を列挙して、RPAツールの社数シェアを年商などの企業属性を含めた様々な観点から集計/分析している。

例えば、年商区分は5億円未満/5~10億円/10~20億円/20~50億円/50~100億円/100~300億円/300~500億円の7区分で集計を行っているが、以下のグラフはその中から3つの年商区分を抜粋し、国内ベンダ、外資系ベンダ、その他のグループで見た場合の社数シェアを集計したものだ。



ここでは一部の年商区分における結果を抜粋しているが、調査レポートには全7区分の年商帯データや業種、従業員数などの様々な企業属性別の集計データが収録されている。

国内ベンダ、外資系ベンダ、その他といったグループ単位で見た場合は、年商規模によって導入済み/導入予定のRPAツールの社数シェアがそれほど変わらないことが確認できる。

さらに以下の数表は「導入済み」と「導入予定」におけるRPAツールの社数シェア順位で10位以内に位置する製品/サービスを列挙したものだ。(調査レポートには全44項目の製品/サービスのシェア数値が収録されている)

F6-1AT.導入済み/導入予定のRPAツール(複数回答可)(上位10位以内の製品/サービスを抜粋)

導入済み (n=552)		導入予定 (n=195)	
1 WinActor: NTTアドバンステクノロジー	24.8%	WinActor: NTTアドバンステクノロジー	17.4%
2 BizRobo!: RPAテクノロジーズ	16.1%	独自開発システム	17.4%
3 Auto名人シリーズ: ユーザックシステム	15.8%	GENEST/EntreQue/Axelute: 富士通	15.4%
4 OCEVISTAS: 大崎コンピュータエンジニアリング、RPAテクノロジーズ	12.9%	SynchRoid: ソフトバンク、RPAホールディングス	7.7%
5 SynchRoid: ソフトバンク、RPAホールディングス	12.7%	ERP/基幹系システムの一機能として利用	6.7%
6 GENEST/EntreQue/Axelute: 富士通	11.4%	BizRobo!: RPAテクノロジーズ	6.2%
7 Power Automate Desktop: 日本マイクロソフト	10.0%	Auto名人シリーズ: ユーザックシステム	6.2%
8 パトロールロボコン/ロボシュタイン: コムスクエア	9.2%	ペーパレス化のソリューションの一部として利用	6.2%
9 NEC Software Robot Solution (BizRobo!は除く): NEC	8.0%	OCEVISTAS: 大崎コンピュータエンジニアリング、RPAテクノロジーズ	5.6%
10 独自開発システム	6.2%	NEC Software Robot Solution (BizRobo!は除く): NEC	5.6%

出典: 2023年版 中堅・中小企業におけるRPAおよびノーコード/ローコード開発ツールの活用実態レポート(ノークリサーチ)

「導入済み」における社数シェアが1割以上であるのは「WinActor」>「BizRobo!」>「Auto名人シリーズ」>「OCEVISTAS」>「SynchRoid」>「GENEST/EntreQue/Axelute」>「Power Automate Desktop」の7つの製品/サービスである。「WinActor」(NTTアドバンステクノロジー)はRPAツールの社数シェアで首位を堅持しているが、2位の「BizRobo!」を提供するRPAテクノロジーズは「OCEVISTAS」や「SynchRoid」の開発にも関わっている。したがって、RPAツールでは依然としてNTTアドバンステクノロジーとRPAテクノロジーズの2強体制が続く状況となっている。

一方で、「導入予定」における社数シェアの上位を見ると、「独自開発システム」や「ERP/基幹系システムの一機能として利用」および「ペーパレス化のソリューションの一部として利用」が浮上してきている。RPAツールベンダにとって独自開発システム、ERP/基幹系システム、ペーパレス化は自動化を適用する対象や契機だが、同時に競合となる可能性もある点に留意する必要がある。さらに、調査レポートでは「導入あり&廃止」(ツールを一旦導入したが、中断してしまったケース)ではどのような製品/サービスが多いのか? などについても集計/分析を行っている。

本リリースの元となる調査レポート

『2023年版 中堅・中小企業におけるRPAおよびノーコード/ローコード開発ツールの活用実態レポート』

今後はレイトマジョリティへの訴求が焦点。課題/ニーズの変化を捉え、市場拡大を阻む障壁を打開するためには何をすべきか？

【対象企業属性】(有効回答件数:1300社、調査実施期間:2023年7月～8月)

年商: 5億円未満 / 5億円以上～10億円未満 / 10億円以上～20億円未満 / 20億円以上～50億円未満 / 50億円以上～100億円未満 / 100億円以上～300億円未満 / 300億円以上～500億円未満 /

従業員数: 10人未満 / 10人以上～20人未満 / 20人以上～50人未満 / 50人以上～100人未満 / 100人以上～300人未満 / 300人以上～500人未満 / 500人以上～1,000人未満 / 1,000人以上～3,000人未満 / 3,000人以上～5,000人未満 / 5,000人以上

業種: 組立製造業 / 加工製造業 / 建設業 / 卸売業 / 小売業 / 流通業(運輸業) / IT関連サービス業 / 一般サービス業 / その他:

地域: 北海道地方 / 東北地方 / 関東地方 / 北陸地方 / 中部地方 / 近畿地方 / 中国地方 / 四国地方 / 九州・沖縄地方

その他の属性: 「IT管理/運用の人員規模」(12区分)、「ビジネス拠点の状況」(5区分)

【分析サマリ(調査結果の重要ポイントを述べたPDFドキュメント)の概要】

RPA(Robotic Process Automation)ツールとは、ヒトによる手作業を自動化するアプリケーションを指す。(具体例は次頁を参照)ノーコード/ローコード開発ツールとは、プログラミングが全く不要(ノーコード)、もしくは簡易なプログラミング(ローコード)によって業務システムを作成できる開発環境を指す。以下では「ノーコード/ローコード開発(No-Code Low-Code Development)」をNLDと略記し、ノーコード/ローコード開発ツールを「NLDツール」と記載する。また、RPAツールとNLDツールを合わせて「RPA/NLDツール」と記載する。

第1章: RPA/NLDツールの認知と導入状況

ユーザ企業はどのような場面をRPA/NLD活用に該当すると考えているのか？(RPA/NLDツールと従来ツールとの混同はないか？)を確認した上で、RPA/NLDツールの導入状況を「導入済みで今後も拡大する」や「導入したが廃止した」などの詳細なパターンに分けて集計/分析。

第2章: RPA/NLDツール活用における課題

RPA/NLDツールを活用する際にユーザ企業が直面する課題をRPAツールに固有の項目、NLDツールに固有の項目、両者に共通する項目に整理し、計23項目に渡って集計/分析。

第3章: RPA/NLDツール活用における取り組みや方針

RPA/NLDツールを活用する際にユーザ企業が取り組んでいる事柄や実践している方針について、RPAツールに固有の項目、NLDツールに固有の項目、両者に共通する項目に整理し、計24項目に渡って集計/分析。

第4章: RPA/NLDツールを適用する場面や用途

RPAツールとNLDツールのそれぞれについて、ユーザ企業が各ツールを適用する場面や用途を具体的に列挙し、今後はどのような場面や用途が増えるか？などを集計/分析。(RPAツールに関する用途/場面の選択肢は計14項目、NLDツールに関する用途/場面の選択肢は計10項目)

第5章: RPAツールの社数シェア

計36項目に渡る具体的な製品/サービスを列挙し、RPAツールの導入済み/導入予定の社数シェアを集計/分析。

第6章: NLDツールの社数シェア

計40項目に渡る具体的な製品/サービスを列挙し、NLDツールの導入済み/導入予定の社数シェアを集計/分析。

第7章: RPA/NLDツールの導入費用と導入元

RPA/NLDツールの導入費用(ハードウェアやOSは除外)および導入元(プライムの販社/Sierか、それ以外の販社/Sierか、ベンダからの直販か？)について尋ねた結果を集計/分析。

【発刊日】2024年1月31日

【調査レポートの詳細な案内】 https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2023RPA_user_rep.pdf

【価格】180,000円(税別) RPAツールとNLDツールのどちらか一方のみの販売は行っておりません

補記:社数シェア集計/分析の対象となっているRPAツールの一覧

本リリースの元となる調査レポートでは具体的なRPAツールの導入済み/導入予定の社数シェアを集計/分析している。選択肢に掲載される製品/サービスは過去の調査結果や最新の市場状況などを踏まえた上で選定される。自由回答の中から多く挙げられたものは選択肢として新たに取り上げ、逆に一定期間以上シェア数値がないものは割愛するという方針で年毎に調整を行っている。

<<国内ベンダ>>

- ・WinActor
- ・BizRobo!
- ・Auto名人シリーズ
- ・SynchROID
- ・OCEVISTAS
- ・パトロールロボコン/ロボシュタイン
- ・ipaSロボ
- ・NEC Software Robot Solution(BizRobo!は除く)
- ・GENEST/EntreQue/Axelute
- ・NaU DSP
- ・Robo-Pat
- ・Owlgarden RPA
- ・batton
- ・AUTORO (Robotic Crowd)
- ・BizteX cobit
- ・アシロボ
- ・RoboTANGO
- ・JobAuto
- ・Ez Robot
- ・クラウドBOT
- ・EzAvater
- ・コボットPlatform
- ・ziggxa flow
- ・マクロマン
- ・ロボオペレータ

- NTTアドバンステクノロジー
- RPAテクノロジーズ
- ユーザックシステム
- ソフトバンク、RPAホールディングス
- 大崎コンピュータエンジニアリング、RPAテクノロジーズ
- コムスクエア
- デリバリーコンサルティング
- NEC
- 富士通
- なうデータ研究所
- FCEプロセス&テクノロジー
- エクス
- batton
- オートロ(チュートリアル)
- BizteX
- ディヴオートソリューション/ドヴァ
- スターティアレイズ
- シジャム・ビーティービー
- RPAソリューションズ
- C-RISE
- テリロジーサービスウェア
- ディップ
- ジグザ
- コクー
- グローシップ・パートナーズ

<<外資系ベンダ>>

- ・UiPath
- ・Blue Prism
- ・NICE APAシリーズ
- ・Power Automate Desktop
- ・Automation 360(Anywhere Enterprise)
- ・Pega Robotic Automation
- ・WorkFusion(RPA Expressを含む)
- ・Kofax RPA
- ・Verint RPA
- ・AutoMate
- ・OpenRPA

- UiPath
- SS&C Blue Prism
- NICE
- 日本マイクロソフト
- オートメーション・エニウェア
- Pegasystems
- WorkFusion
- Kofax Japan
- ベリントシステムズジャパン
- Fortra (HelpSystems)
- OpenIAP

<<その他>>

- ・その他:
- ・Webサービス連携ツールの一機能として利用
- ・ERP/基幹系システムの一機能として利用
- ・コラボレーションの一機能として利用
- ・ワークフロー・ビジネスプロセス管理の一機能として利用
- ・ペーパーレス化のソリューションの一部として利用
- ・テレワークのソリューションの一部として利用
- ・独自開発システム

ご好評いただいている既存の調査レポート 各冊180,000円(税別)

『2023年版 中堅・中小企業のDXおよびITソリューション選定の実態レポート』

50項目に渡る具体的なDX/ITソリューションの導入状況、ユーザ企業が抱える課題とニーズ、選ぶべき訴求手段を網羅した一冊

【レポートの概要と案内】 https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2023IT_user_rep.pdf

【リリース(ダイジェスト)】 中堅・中小市場で選ぶべき顧客接点とは?(Webサイト/SNS/メール/電話/Web会議など)

https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2023IT_user_rel1.pdf

中堅・中小企業のIT支出を左右する経常利益の増減見通しとその要因分析

https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2023IT_user_rel2.pdf

12分野、50項目に渡るDX/ITソリューションの活用実態における変化

https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2023IT_user_rel3.pdf

中堅・中小市場で留意すべきユーザ企業とIT企業の「すれ違い」ポイント

https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2023IT_user_rel4.pdf

年商別/業種別のIT支出増減予測およびIT支出を増やす商材と減らす商材

https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2023IT_user_rel5.pdf

『2023年版 中堅・中小企業におけるネットワーク環境の実態と展望レポート』

今後不可欠となるネットワーク環境とセキュリティ対策を同時に考慮したITインフラ整備の提案ポイントを分析/提言

【レポートの概要と案内】 https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2023NW_user_rep.pdf

【リリース(ダイジェスト)】 セキュリティ対策を起点とした中堅・中小向けネットワーク製品/サービスの訴求

https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2023NW_user_rel1.pdf

IT企業が見落としやすい中堅・中小ネットワーク環境の意外な課題/ニーズ

https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2023NW_user_rel2.pdf

中堅・中小企業におけるネットワーク製品/サービスの市場規模と導入時の基本方針

https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2023NW_user_rel3.pdf

『2023年版 中堅・中小企業のITアプリケーション利用実態と評価レポート』

10分野の導入済み/導入予定の社数シェアとユーザ評価に加えて、法制度対応やデータ分析/生成AIの動向を網羅

【レポートの概要と案内】 https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2023itapp_rep.pdf

【リリース(ダイジェスト)】

データ分析や生成AI

https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2023itapp_ex2_rel.pdf

インボイス/電帳法

https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2023itapp_ex1_rel.pdf

ERP

https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2023itapp_erp_rel.pdf

生産管理

https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2023itapp_ppc_rel.pdf

会計管理

https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2023itapp_acc_rel.pdf

販売・仕入・在庫管理

https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2023itapp_sbc_rel.pdf

給与・人事・勤怠・就業管理

https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2023itapp_hrw_rel.pdf

ワークフロー・ビジネスプロセス管理

https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2023itapp_wf_rel.pdf

コラボレーション(グループウェア/ビジネスチャット/Web会議)

https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2023itapp_gw_rel.pdf

CRM

https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2023itapp_crm_rel.pdf

BI

https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2023itapp_bi_rel.pdf

文書管理・オンラインストレージサービス

https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2023itapp_dm_rel.pdf

本データの無断引用・転載を禁じます。引用・転載をご希望の場合は下記をご参照の上、担当窓口にお問い合わせください。

引用・転載のポリシー: <http://www.norkresearch.co.jp/policy/index.html>

当調査データに関するお問い合わせ

NORKRESEARCH

株式会社 ノークリサーチ 担当: 岩上 由高
〒160-0022 東京都新宿区新宿2-13-10 武蔵野ビル5階23号室
TEL 03-5361-7880 FAX 03-5361-7881

Mail: inform@norkresearch.co.jp

Web: www.norkresearch.co.jp

Nork Research Co.,Ltd